マイタイムライン

時間	3日前	1~2日前	半日前	5時間前	3時間前		0時間
状況	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化		災害のおそれあり	災害のおそれ高い		災害発生 又は切迫
警戒レベル	1	2		3	4		5
避難情報等	早期注意情報	大雨・洪水注意報		高齢者等避難	避難指示		緊急安全確保
警報等	レベル1相当	レベル2相当		レベル3相当	レベル4相当		レベル5相当
大雨・土砂災害	ー	ー		大雨警報（土砂災害）	土砂災害警戒情報		大雨特別警報
河川の氾濫	ー	氾濫注意情報		氾濫警戒情報 洪水警報	氾濫危険情報		氾濫発生情報
	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認		危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	警戒レベル4までに必ず避難	命の危険 直ちに安全確保
住民がとるべき行動	○テレビやインターネット等で気象情報等を確認 ○防災ハザードマップで避難所・避難手段を確認 ○家族全員の今後の予定を確認 ○防災グッズの確認不足があれば買い出し ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされそうなものがないか確認	○防災ハザードマップで避難所・避難手段の再確認 ○万一に備え、親戚・知人へ避難の受入れの相談 ○携帯電話の充電 ○テレビ（dボタン）やインターネットで気象情報・通行止め情報を確認 ○気象庁のホームページで「キキクル」を調べる		○移動に時間のかかる人は町内の指定避難所等への避難を開始 ○テレビ（dボタン）やインターネットで気象情報・通行止め情報を再確認 ○気象庁のホームページで「キキクル」を確認	○町内の指定避難所への避難を完了 ○自宅が安全な人は自宅に留まる		
わが家の行動	□ □ □	□ □ □		□ □ □	□ □ □		□ □ □
記入例	・家族内で予め備蓄品を購入 ・非常持ち出し品のチェック ・家族全員の集合場所を決め安全な避難ルートを策定 ・車にガソリンを入れておく	・災害情報を把握し避難を行うかの判断 ・風水害に備え家の施錠や窓に養生テープを貼る ・自家用車等の対策		・避難を開始 ・安全なルートで避難所等に移動	・避難所内では持ってきた食料品で過ごす ・避難が完了した場合は家族に連絡する		・自分の状況を家族や親戚等に連絡

マップの見方・使い方、地図の凡例

マップの見方・使い方

■本防災マップは、平時から見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。

■マップ上に表示してある土砂災害警戒区域・特別警戒区域については、崖崩れ及び土石流等の発生する可能性のある場所を示しておりますので、お近く（特に、下流側の地域）については十分に注意してください。

■避難所については、災害によって住居を失う等、被害を受けた人や受ける可能性のある人が一定の期間、避難生活をする施設です。よって災害から一時的に避難をする場合を想定して、避難所及び避難経路を各家庭または地区（自主防災組織）で決めておく必要があります。

■各家庭において、自宅から避難所への避難経路をペンで塗るなどして表示し、常に確認するようにしましょう。

地図の凡例

土砂災害警戒区域	土石流		土石流が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
	急傾斜地の崩壊		急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
土砂災害特別警戒区域	土石流		土石流が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域
	急傾斜地の崩壊		急傾斜地の崩壊が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

津波浸水想定	
	20m以上
	10m以上20m未満
	5m以上10m未満
	3m以上5m未満
	2m以上3m未満
	1m以上2m未満
	0.3m以上1.0m未満
	0.01m以上0.3m未満

	指定緊急避難場所		津波避難場所
	指定避難所		ドクターヘリ離着陸場所
福祉	福祉避難所		消防団詰所

国道番号 国道	河川・池	警察署・交番・駐在所	神社	史跡・名勝・天然記念物
主要地方道・県道	信号機	消防署	寺院	キャンプ場
東九州自動車道	IC インターチェンジ	小・中・高校	銀行	
その他道路	町役場	郵便局	ガソリンスタンド	
郡市界		病院	ホテル・民宿	